

# のり養殖通報第1報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議

平成29年9月19日発行

今年度ものり養殖通報の中で海況や留意点をお伝えしていきます。

本報は水質観測結果を中心に構成しました。

## 【海況】表層の栄養塩は低レベル

- 9月13日の観測では、内湾は濃い赤潮状態では無いがキートケロス等の小型の珪藻がやや多く、表層の栄養塩は湾奥部を除いて窒素リンともに低レベルで内房地区では窒素、リンともにさらに低い値を示している。表層水温は概ね24~26℃台、塩分は湾奥部がやや低めだが特に問題の無い値であった(表1)。
- 新富津漁協自動観測ブイによる観測値では9月14日まで気温の高い日が続き、表層水温は一時26℃前後に上昇したが、15日以降は気温低下に伴い23℃台に降下した。台風18号が通過した18日以降は再び上昇に転じ19日現在24℃前後で経過している(図1)。

## 【今後の留意点】 栄養塩の回復、水温降下のタイミングを見極めて

- 栄養塩の回復と適水温(23℃)からの低下傾向のタイミングを見極めて育苗を開始することが漁期最初の重要なポイント。
- 気象予報では、気温は変動が大きく高め基調で推移すると予報されており、早期に育苗を開始した場合前年同様の水温停滞や再上昇の悪影響が懸念される。
- 東京湾漁業研究所では9月25~26日に東京湾全域の水質観測を実施し、速やかに調査結果をお届けする予定です。育苗開始に向けた検討に活用してください。
- 日本周辺の海水温が高いため、大型台風の発生にも十分に留意してください。以下のインターネットのサイトでは10日先までの予報が確認できます。

ヨーロッパ中期予報センター (ECMWF)

気象庁数値予報天気図

表1 水質観測結果(9/13)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	26.5	28.5	8.6	3.0	153	12
盤洲Cブイ	24.9	30.9	8.4	5.0	57	17
盤洲Bブイ	25.2	30.8	8.5	4.8	22	3
盤洲Aブイ	24.8	31.4	8.4	4.0	29	16
富津ベタ	23.7	32.1	8.3	5.7	99	1
2海ほ下	24.9	32.9		5.0	25	6
大貫沖	25.5	33.3		6.0	2	3
湊沖	26.0	33.8		9.0	8	1

※ノリの健全な生育や高色調の保持に必要な目安=窒素110, リン8

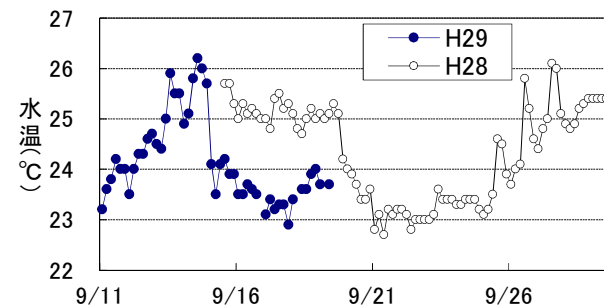


図1 昨年度と今年度の水温の比較(新富津観測ブイ)

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。  
次回は9月27日頃発行します。